

2006年9月期決算説明資料

11月20日

NSSH**N**BO

連結損益計算書

百万円

	2006年9月期	2005年9月期	前年同期比	増減率(%)	主な増減内容
売上高	155,710	121,504	+34,205	28.2	繊維減△60、ブレーキ増3,020、紙増354、 化成品増46、エレクトロニクス増31,045、 不動産増40、その他減△237
営業利益	6,466	4,947	+1,519	30.7	繊維減△192、ブレーキ増997、紙減△207、 化成品減△65、エレクトロニクス増920、不動産増58、 その他減△290、全社費用減298
経常利益	8,449	6,742	+1,706	25.3	受取利息・配当金増331 持分法投資利益増552
特別損益	1,018	△995	+2,014		投資有価証券売却益増1,439 固定資産売却益増1,414 特別退職金増△1,364
税引前利益	9,467	5,746	+3,720	64.7	
法人税等	△2,844	△1,726	△1,117		
少数株主損益	△1,211	△341	△870		新日本無線(新規)△333 セロンオートモーティブ△204
当期純利益	5,411	3,678	+1,732	47.1	

貸借対照表比較

百万円

(資産の部)	2006年9月期	2006年3月期	増減	主な増減内容
棚卸資産	52, 103	52, 583	△480	日清紡減△257
有形固定資産	119, 994	121, 148	△1, 153	取得6,138 償却△6,678 除却売却△715
無形固定資産	5, 549	5, 050	+499	のれん増391(新日本無線)
投資有価証券	175, 546	185, 051	△9, 504	評価差益減△11,759

(負債の部)	2006年9月期	2006年3月期	増減	主な増減内容
短期借入金 ※1	52, 385	50, 666	+1, 719	海外子会社増1,314
長期借入金	6, 329	8, 932	△2, 603	海外子会社減△2,451
繰延税金負債	43, 944	48, 150	△4, 206	有価証券評価益減

※1. 短期借入金には一年内返済の長期借入金を含む

(純資産の部)	2006年9月期	2006年3月期	増減	主な増減内容
その他有価証券評価差額金	68, 015	74, 994	△6, 979	有価証券評価益減に伴う減
自己株式	△5, 424	△454	△4, 970	(自己株式保有数4,717千株)

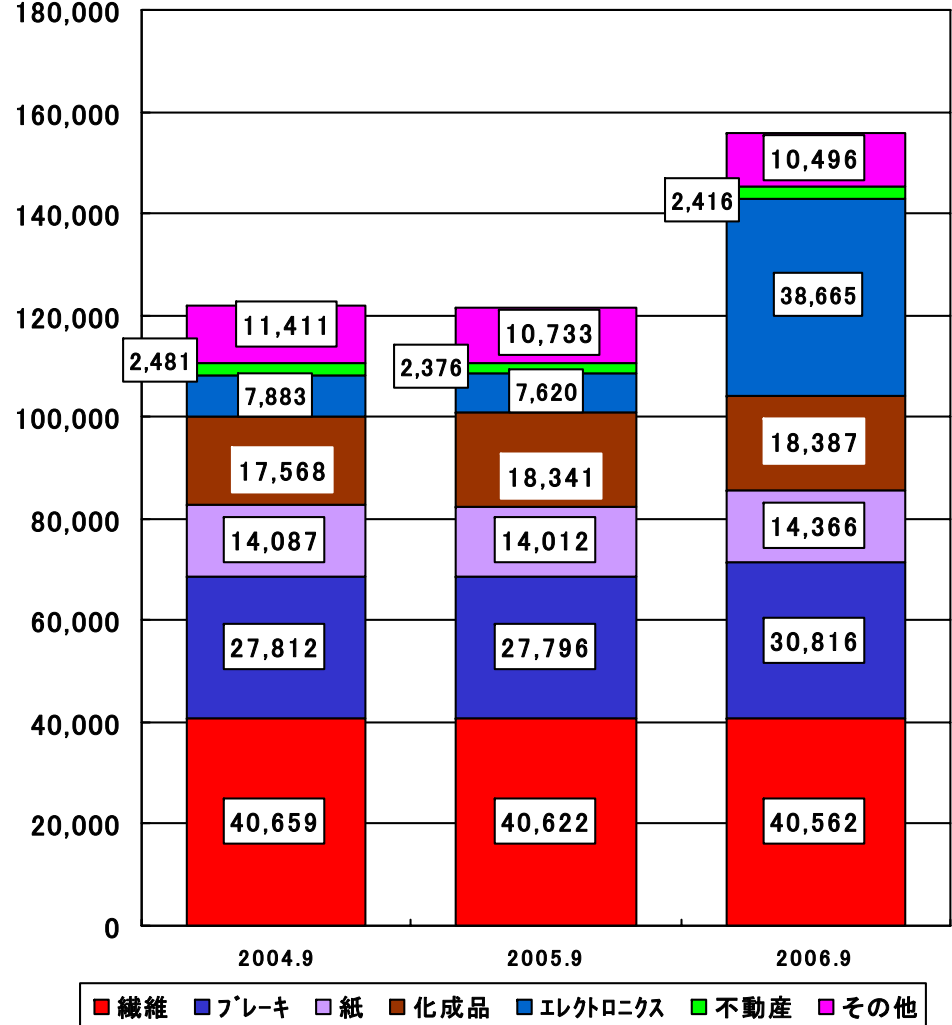
セグメント別売上高

百万円

	2004年9月期	2005年9月期	2006年9月期	構成比
繊維	40,659	40,622	40,562	26.1%
ブレーキ	27,812	27,796	30,816	19.8%
紙	14,087	14,012	14,366	9.2%
化成品	17,568	18,341	18,387	11.8%
エレクトロニクス	7,883	7,620	38,665	24.8%
不動産	2,481	2,376	2,416	1.6%
その他	11,411	10,733	10,496	6.7%
売上高計	121,905	121,504	155,710	

繊維 : 国内減収、ニカワキスタイル等海外子会社好調
 ブレーキ : 国内・海外共に、自動車生産台数増加により増収
 ABS製品はコンチネンタルテバスへの移管により減収
 紙 : 家庭紙、洋紙とも増収
 化成品 : 海外子会社好調
 エラストマー・カーボン増収
 エレクトロニクス : 前下半期より連結した新日本無線分の増加
 不動産 : 大型案件ないが、前期中立ち上がった事業が通期寄与
 その他 : メカトロ減収

百万円

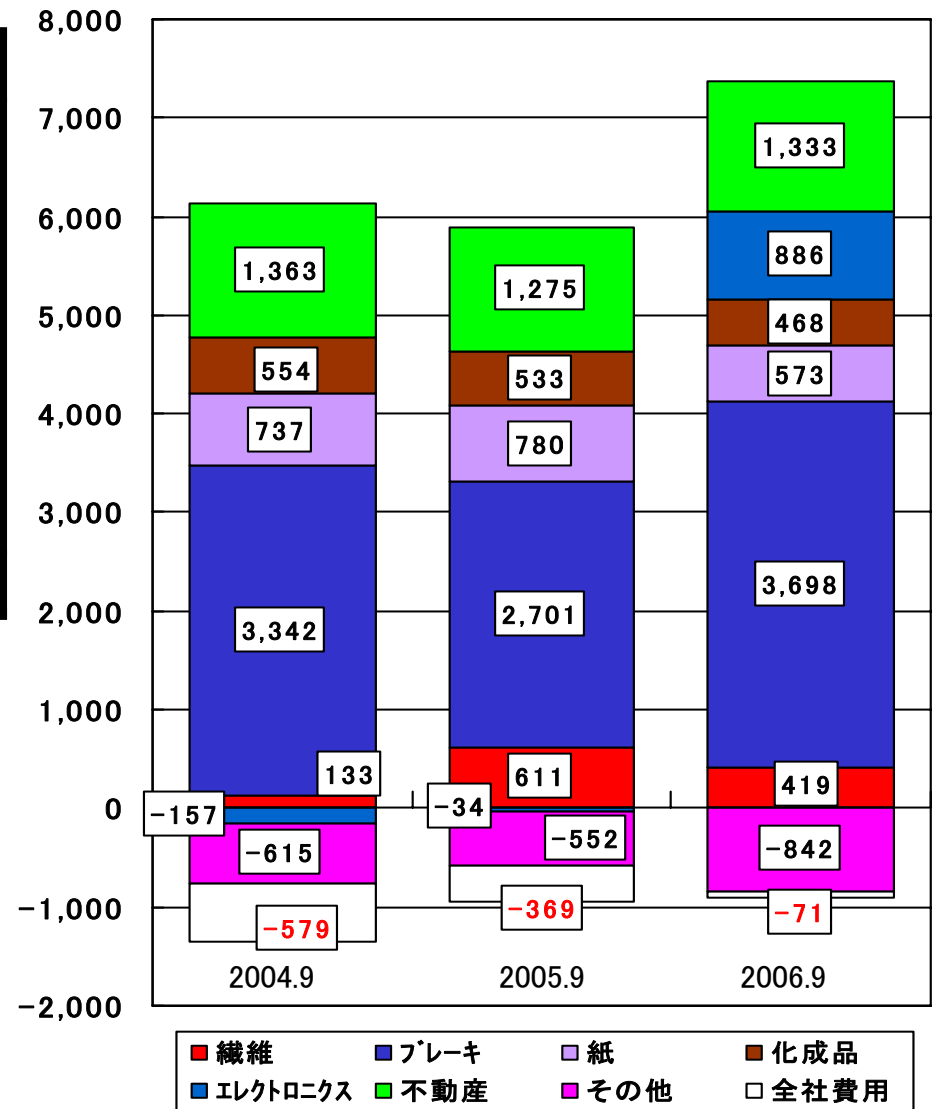


セグメント別営業利益

百万円

	2004年9月期	2005年9月期	2006年9月期	構成比
繊維	133	611	419	6.5%
ブレーキ	3,342	2,701	3,698	57.2%
紙	737	780	573	8.9%
化成品	554	533	468	7.2%
エレクトロニクス	△157	△34	886	13.7%
不動産	1,363	1,275	1,333	20.6%
その他	△615	△552	△842	-
全社費用	△579	△369	△71	13.0%
営業利益計	4,778	4,947	6,466	

百万円



繊維 : ギステックス・ブラジル日清紡減益

ブレーキ : 豊田工場への移転に伴う経費増、米国子会社の収益改善

紙 : 原燃料費アップ、製品価格低迷

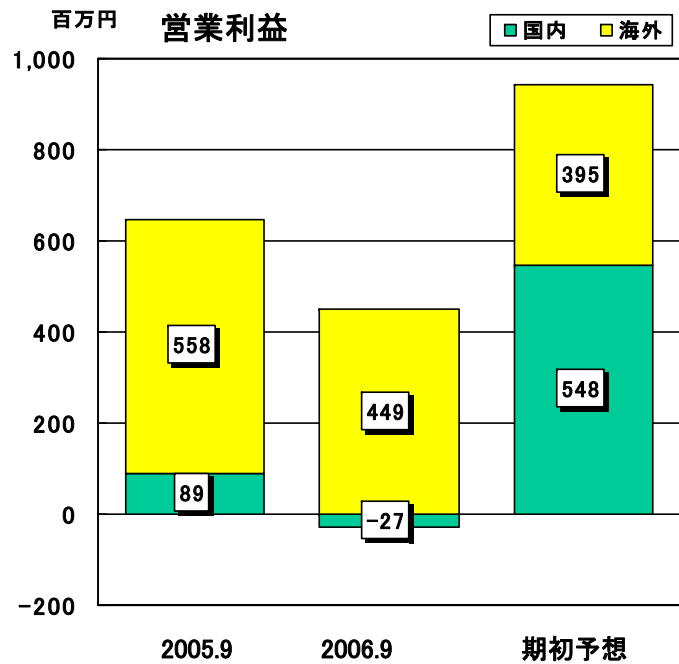
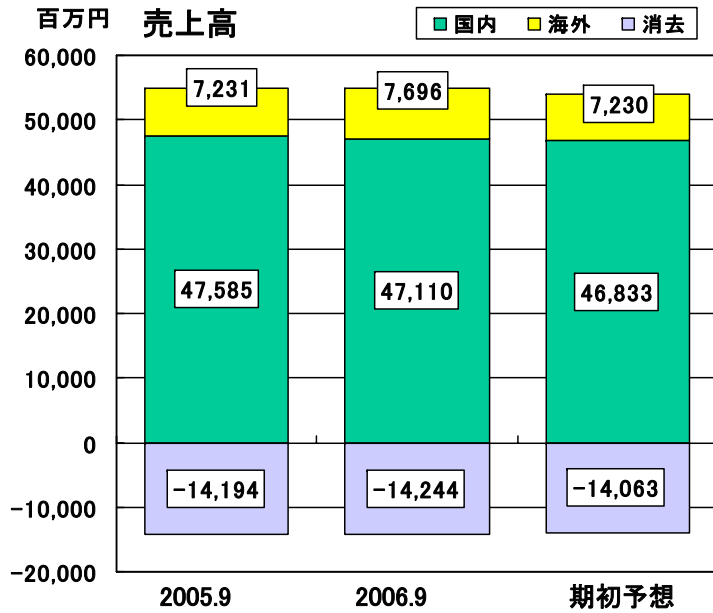
化成品 : 千葉工場への移転による生産コストのアップ、海外子会社好調

エレクトロニクス : 前下半期より連結した新日本無線分の増加

不動産 : 安定収益

その他 : メカトロ減益

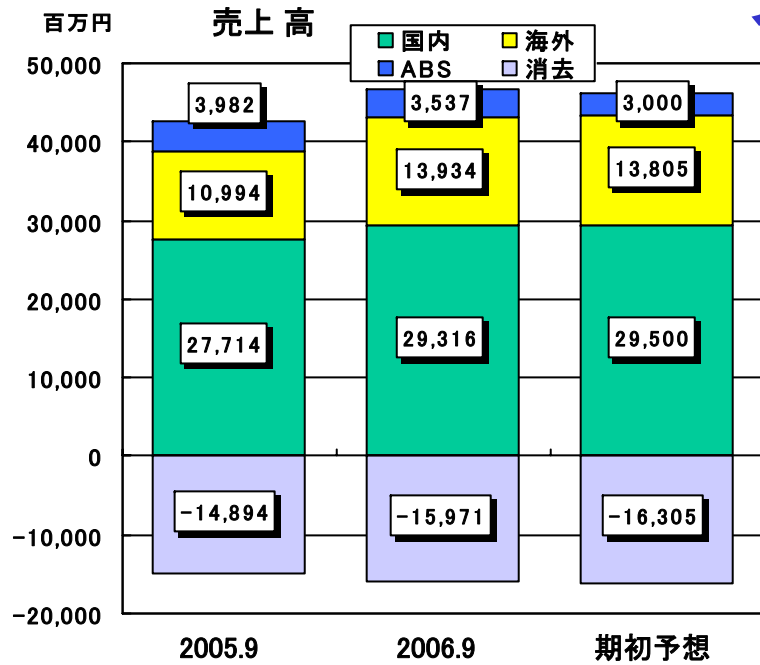
繊維事業



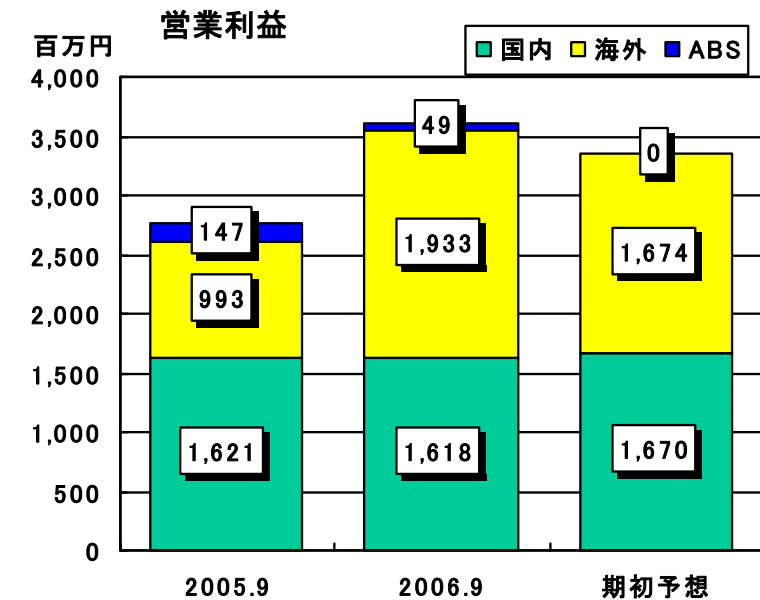
	2005年 9月期		2006年 9月期		期初 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	26,618	△66	26,494	△188	26,300	298
CHOYA	6,177	96	6,194	50	6,350	150
その他 ※1	14,790	59	14,422	111	14,183	100
国内計	47,585	89	47,110	△27	46,833	548
ブラジル日清紡	2,131	376	2,239	307	2,100	225
ギステックス	1,776	99	1,438	14	1,836	79
ニカテックス	2,221	72	2,703	131	2,520	94
日清紡上海	980	6	1,182	14	630	1
P. T. ナイガイシャツ	123	5	134	△17	144	△4
海外計	7,231	558	7,696	449	7,230	395
小計	54,816	647	54,806	422	54,063	943
消去	△14,194	△36	△14,244	△3	△14,063	△43
合計	40,622	611	40,562	419	40,000	900

※1. ニッシン・トーア、日新デニム他

ブレーキ事業



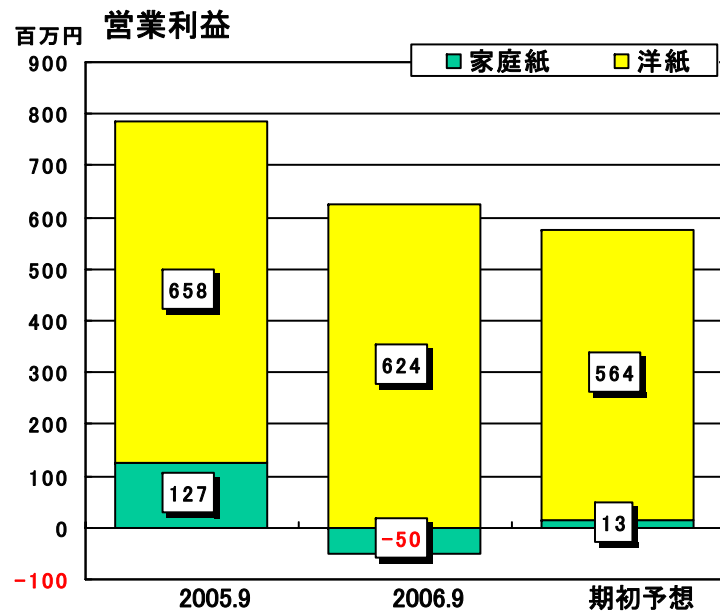
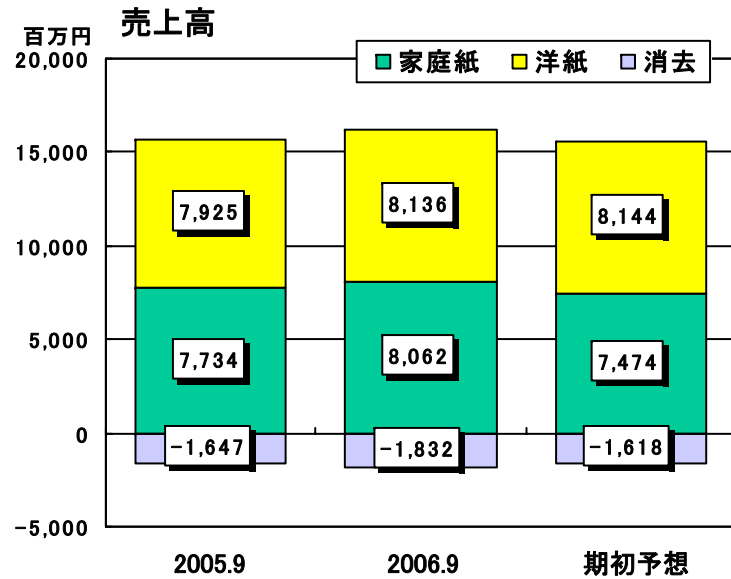
	2005年	9月期	2006年	9月期	期初	予想
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	14,184	1,474	14,988	1,441	15,300	1,575
その他 ※1	13,530	147	14,328	177	14,200	95
小計	27,714	1,621	29,316	1,618	29,500	1,670
ABS	3,982	147	3,537	49	3,000	0
国内計	31,696	1,768	32,853	1,667	32,500	1,670
海外 ※2	10,994	993	13,934	1,933	13,805	1,674
小計	42,690	2,761	46,787	3,600	46,305	3,344
消去	△14,894	△60	△15,971	98	△16,305	△44
合計	27,796	2,701	30,816	3,698	30,000	3,300



※1. 日清紡ブレーキ販売

※2. 日清紡オートモーティブ(米国)他

紙製品事業

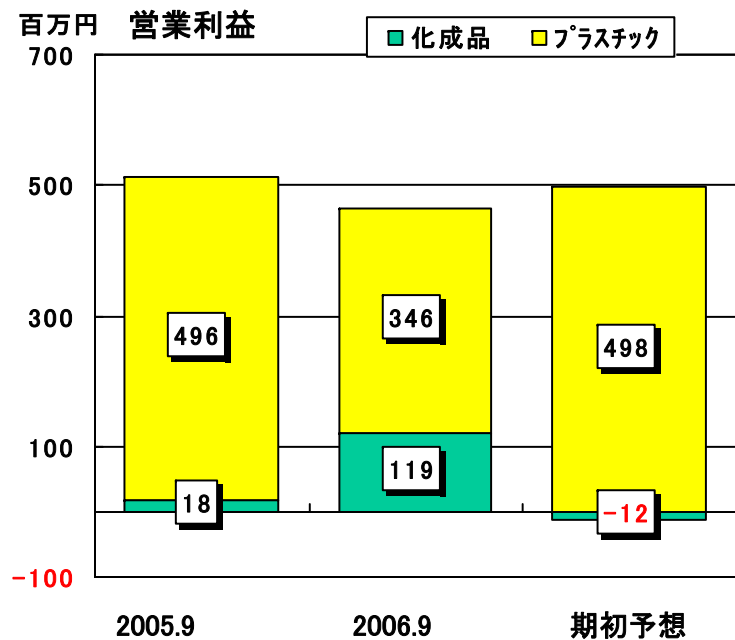
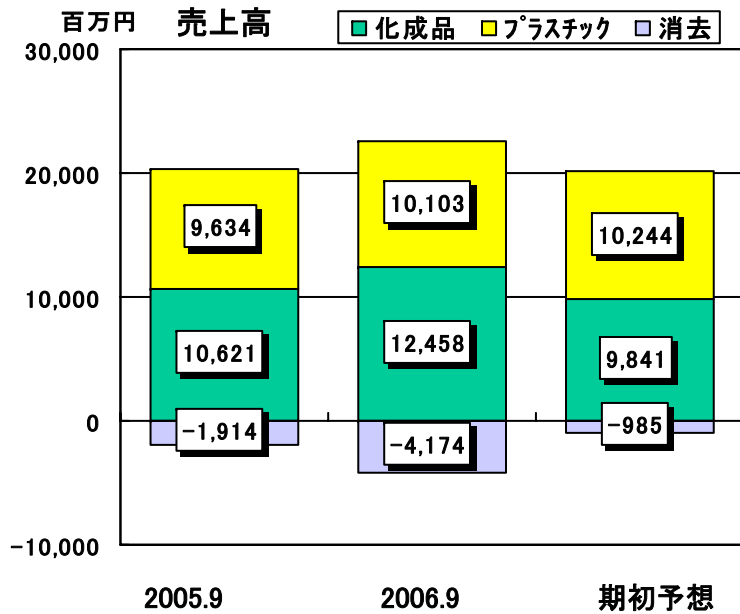


	2005年 9月期		2006年 9月期		期初 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	5,720	113	5,823	△107	5,500	30
その他 ※1	2,014	14	2,239	57	1,974	△17
家庭紙計	7,734	127	8,062	△50	7,474	13
日清紡	5,638	635	5,802	592	5,640	509
その他 ※2	2,287	23	2,334	32	2,504	55
洋紙計	7,925	658	8,136	624	8,144	564
小計	15,659	785	16,198	574	15,618	577
消去	△1,647	△5	△1,832	△1	△1,618	△27
合計	14,012	780	14,366	573	14,000	550

※1. 東海製紙他

※2. 日清紡ポスタルケミカル

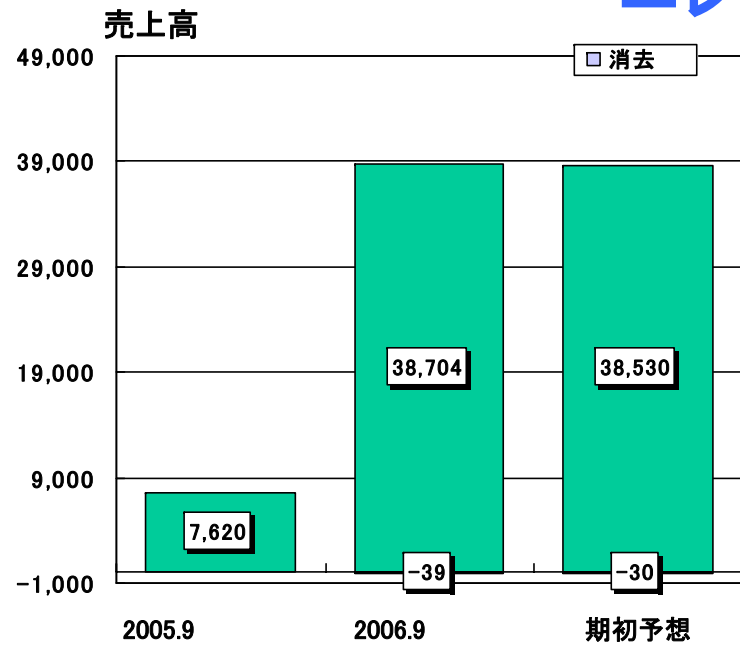
化成品事業



	2005年 9月期		2006年 9月期		期初 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	5,281	△31	4,898	24	4,500	△91
その他 ※1	5,340	49	7,560	95	5,341	79
化成品計	10,621	18	12,458	119	9,841	△12
日本高分子	4,495	△65	4,730	△72	4,550	0
タイ高分子	3,558	287	3,883	241	4,125	273
浦東高分子	1,581	274	1,490	177	1,569	225
プラスチック成形計	9,634	496	10,103	346	10,244	498
小計	20,255	514	22,561	465	20,085	486
消去	△1,914	19	△4,174	3	△985	14
合計	18,341	533	18,387	468	19,100	500

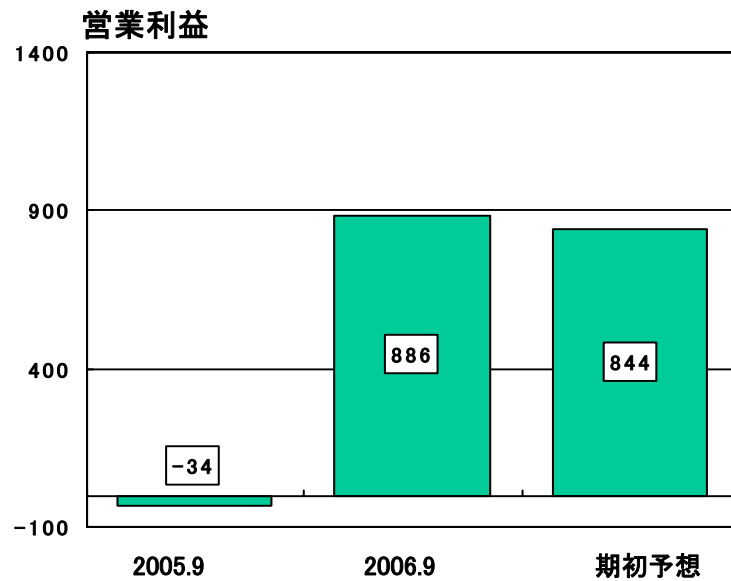
※1. 岩尾他

エレクトロニクス事業

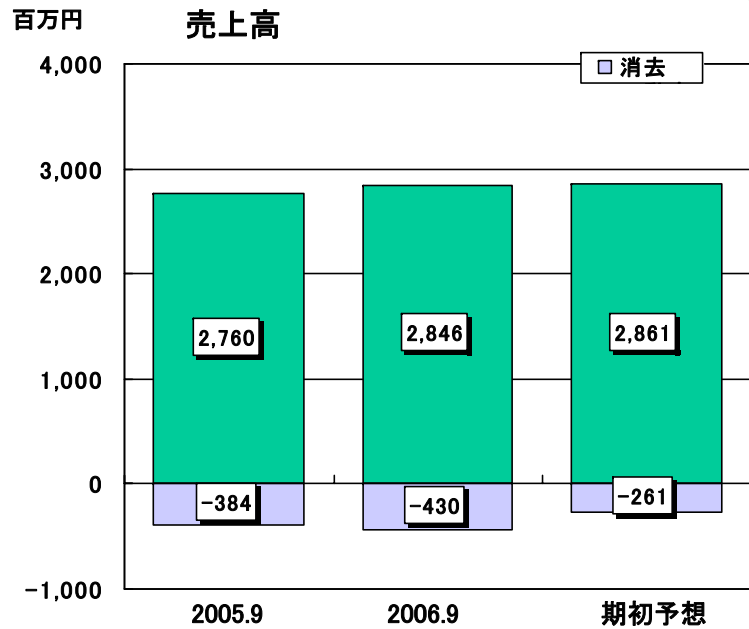


	2005年 9月期		2006年 9月期		期初	予想
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
新日本無線	-	-	31,389	1,325	31,000	1,300
その他 ※1	7,620	△34	7,315	△439	7,530	△456
計	7,620	△34	38,704	886	38,530	844
消去	-	-	△39	-	△30	△44
合計	7,620	△34	38,665	886	38,500	800

※1. 上田日本無線、のれん償却他

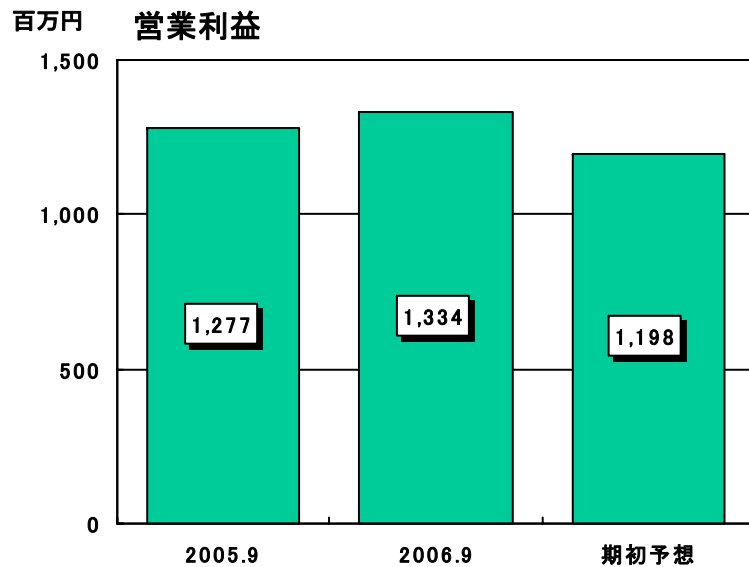


不動産事業

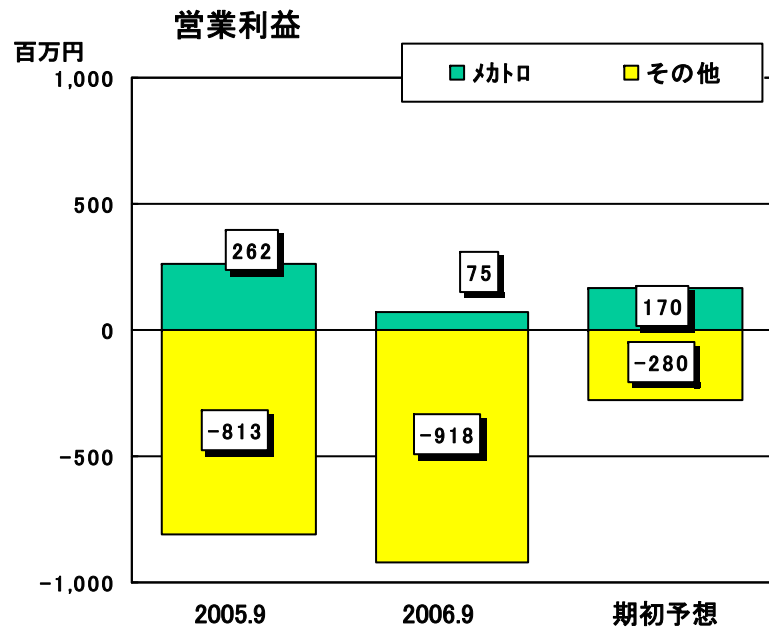
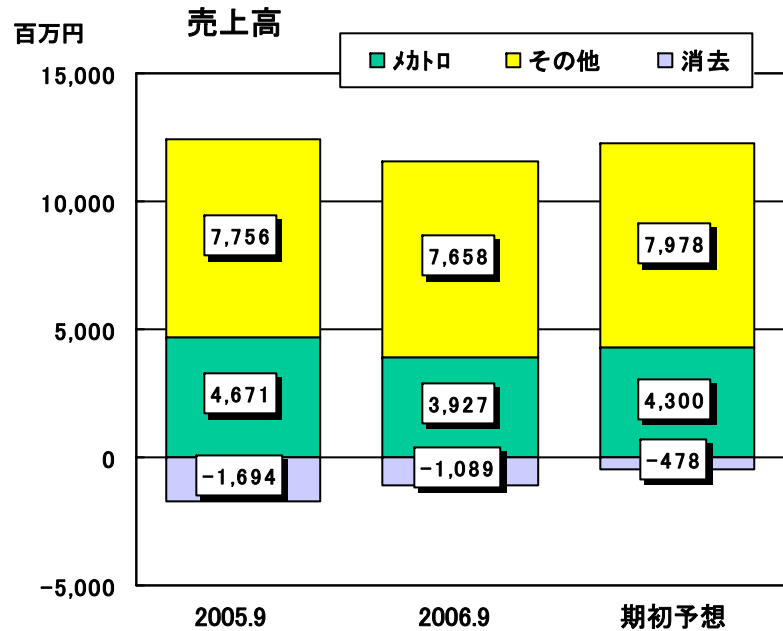


	2005年	9月期	2006年	9月期	期初	予想
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	1,802	1,101	1,853	1,128	1,850	977
その他 ※1	958	176	993	206	1,011	221
計	2,760	1,277	2,846	1,334	2,861	1,198
消去	△384	△2	△430	△1	△261	2
合計	2,376	1,275	2,416	1,333	2,600	1,200

※1. 日清紡都市開発他



その他事業



	2005年 9月期		2006年 9月期		期初 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
メカトロニクス	4,671	262	3,927	75	4,300	170
その他部門 ※1	7,756	△813	7,658	△918	7,978	△280
計	12,427	△551	11,585	△843	12,278	△110
消去	△1,694	△1	△1,089	1	△478	10
合計	10,733	△552	10,496	△842	11,800	△100

※1. 新規事業他

通期予想

百万円

	2007.3 予想	期 初 予想	2006.3 実績	期 初 差異
売上高	320,000	320,000	278,616	-
営業利益	14,000	15,000	10,524	△1,000
経常利益	17,500	18,500	14,033	△1,000
当期純利益	13,000	9,000	11,182	+4,000

◎期初予想比では、売上高は変わらず、営業利益・経常利益は減額、
当期純利益は増額と予想。

(売上高)

繊維は国内事業の環境が厳しく減収。

ブレーキは海外事業が好調のため増収。

紙は下期に価格の改定効果を見込み増収。

その他はエレクトロニクスの売上減等により減収。

(営業利益)

エレクトロニクスはのれん償却額の増加等により減額。

ブレーキは海外事業好調も、ABSの減少や国内事業でのコストアップを見込みほ
ぼ期初計画通りを予想。

その他は新規事業の立ち上げ費用(試験研究費等)の負担増により減額。

(経常利益)

営業利益減から減額。

(当期純利益)

投資有価証券売却益91億円を計上するため増益。

百万円

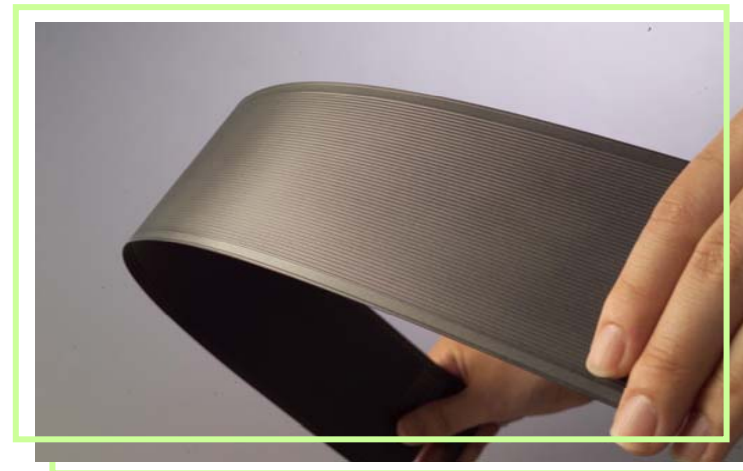
売上高	2007.3 予想	期 初 予想	2006.3 実績	期 初 差異
繊維	83,000	85,000	82,878	△2,000
ブレーキ	62,600	54,600	58,130	+8,000
紙	30,000	29,000	28,611	+1,000
化成品	37,600	38,000	36,007	△400
エレクトロニクス	78,300	81,000	45,857	△2,700
不動産	5,200	5,600	4,781	△450
その他	23,300	26,800	22,349	△3,450
売上高計	320,000	320,000	278,616	-

百万円

営業利益	2007.3 予想	期 初 予想	2006.3 実績	期 初 差異
繊維	1,600	1,900	1,097	△300
ブレーキ	6,800	6,750	5,462	+50
紙	1,400	1,200	1,474	+200
化成品	1,000	950	780	+50
エレクトロニクス	1,900	2,200	808	△300
不動産	2,500	2,300	2,657	+200
その他	△900	325	△996	△1,225
全社	△300	△625	△758	+325
営業利益計	14,000	15,000	10,524	△1,000

新規事業 ① 燃料電池用セパレータ

- 燃料電池の主要部品
- 質・量ともに世界No.1のメーカー
- 本格的に市場拡大、
出荷数量は倍々のペースで推移



実績および予想

- 通期売上高：4割増を達成見込み(前年比)
- 品質向上・コストダウンのため、生産設備の自動化を推進
- 2007年末に設備投資、生産能力を倍増

世界トップシェアをキープする

新規事業 ② 高機能性樹脂素材「カルボジライト」

- ◆ 独自に開発したポリマー
- ◆ プラスチック等を高性能化する唯一の低毒性添加剤
 - 電子材料用接着剤
 - ポリ乳酸改質剤
 - 塗料用架橋剤



実績および予想

- 通期売上高：倍増の見込み(前年比)
- 用途拡大、徳島工場の稼働率向上
- 2009年度には売上高50億円を達成予定

2015年に500億円の売上高を目指す

新規事業 ③ 電気二重層キャパシタ

- 搬送装置や電気(ハイブリッド)自動車のパワーアシスト
- ハイパワー型を開発
- パワー用途で初の実用化達成



実績および予想

- 搬送装置メーカー向けに供給開始、需要本格化
- 自動車向け開発も順調
- 来秋、生産能力を5倍増の設備投資(月産5万セル)

1000億円以上の市場で勝つ

経営3カ年計画2008

(2007.3～2009.3)

◎経営基本方針

- ①高い品質競争力を基盤として、高付加価値商品・差別化商品を継続的に上市する。
- ②リードタイム短縮とクイックレスポンスによるCSファーストを徹底する。
- ③他社とのコラボレーション(協業)を促進する。
- ④海外展開を拡大し、適地生産・適地販売を加速する。
- ⑤友好的なM&Aを推進する。
- ⑥収益改善の見込みのない事業の整理・撤退を行う。

売上高

億円

	2007.3 計画	2008.3 計画	2009.3 計画
繊維	840	870	910
ブレーキ	540	560	590
紙	290	300	320
化成品	370	400	430
エレクトロニクス	850	860	940
不動産	50	60	70
その他	260	300	340
計	3,200	3,350	3,600

営業利益

億円

	2007.3 計画	2008.3 計画	2009.3 計画
繊維	18	26	31
ブレーキ	68	71	73
紙	12	17	19
化成品	9	15	18
エレクトロニクス	30	45	66
不動産	22	25	34
その他	△9	1	9
計	150	200	250

(繊維事業)



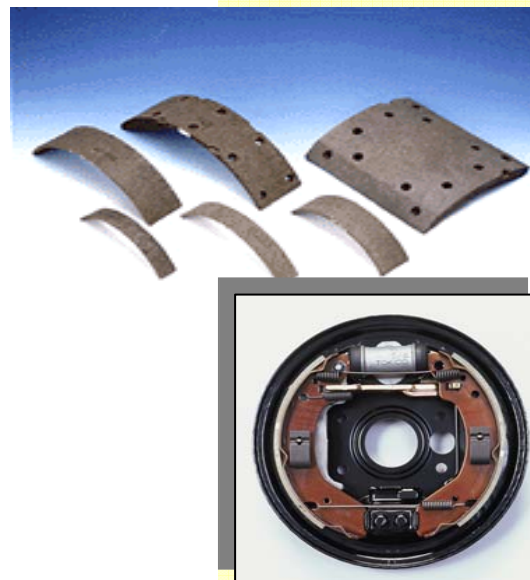
ハンケアの特長■

- ・ 洗濯後も干すだけで美しい仕上がり
- ・ 綿100%の上質な風合い
- ・ 縫い目の細かいシワも気にならない仕上がり
- ・ 一日中着用しても型崩れしない



日清紡SSPは、夢の革新技術「液体アンモニア加工」によって、綿をはじめとするすべてのセルロース繊維の性質を根本的に変化させ、さらに、縫製の後にノーアイロンレベルの形態安定性を持たせるポストキュアの手法を採用することにより、高度の形態安定性を付与したノーアイロン製品です。

当社製品(1)



(ブレーキ製品)

ブレーキライニング &アッセンブリー

ドラムブレーキ用の摩擦材であるブレーキライニングは、軽自動車から大型トラック・バスまで幅広く採用されています。信頼できる制動力と、様々な条件下での性能安定性や耐久性を持ち、皆様の安全をサポートしています。



ディスクパッド &アッセンブリー

ディスクブレーキに装着される摩擦材であるディスクパッドは、普通乗用車をはじめ、軽自動車、スポーツカー、トラックなどの大型車用まで幅広いラインナップをそろえています。優れた制動力と心地よい制動フィーリング、また様々な条件下での性能安定性や耐久性も実現しています。

(ABS製品)

当社製品(2)



アンチロック・ブレーキ・システム

ABSを装着することにより、雨天時や雪道、悪路などで急ブレーキをかけた場合でも、車輪のロックを防止し、スピンせずにハンドル操作ができるため、安定した制動・停止をすることができます。



エレクトロニック・スタビリティコントロール(ESP)

エレクトロニック・スタビリティコントロール(ESP)は、すべりやすい路面で自動車のハンドルをきっても、安定した走りを得るために開発された最新のシステムです。

(紙製品)



家庭紙の豊富な商品バリエーション



コットンフィール ファイン

従来のコットンフィールより1枚の紙を薄くしなやかに抄き上げ、2枚重ねから3枚重ねにすることでボリューム感を出し、まるでピュアコットンそのもののようなやわらかさ、しなやかさを実現しました。



ファインペーパー

高級感のある上質な風合いと高度な印刷適性をそなえた高級印刷用紙です。書籍、ポスター・カタログ・カレンダー、ステーションナリーなどに使用されています。



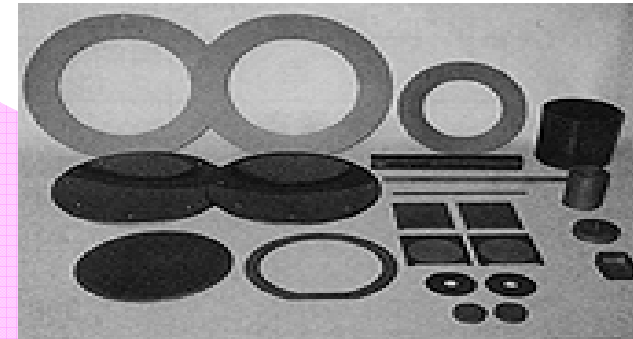
毎日のシャワートイレをもっと快適にするトイレティッシュ

当社製品(3)

(化成品)



「エアライトフォーム」のブランドでおなじみの当社硬質ウレタンフォームは、お客様の要望に応じ、いろいろな形で販売しております。「エアライトフォーム」は、その優れた断熱性を生かし、冷凍船・冷凍コンテナ等のコールドチェーン関連、LNG、LPGの超低温プラント関連及び住宅設備、建築関連に使用されています。又、断熱材分野以外にも、土木分野、合成木材、スポーツ用品等、幅広い用途があります。



ガラス状カーボン

独自の技術で開発したガラス状(アモルファス)カーボンは、従来の炭素材料と異なり、気孔のない緻密な等方性組織が特徴です。



モビロンは、弊社独自の技術で開発した熱可塑性ポリウレタンエラストマー(TPU)です。テープやコード状など多様な形状に成形可能です。



クロス・フロー・ファン

プラスチックファン業界においてはNo.1シェアを誇っておりますが、その最大の要因は回転体技術であります。空体力学を駆使して風量、風圧、騒音、回転数など、バランスのとれた性能を実現しております。

当社製品(4)

(エレクトロニクス)



■ 双方向無線モジュール



デジタルシグナルプロセッサ「NJU26040」



■ 超音波膜厚計 LU-200

(不動産)



アリオ西新井ショッピングセンター

2007年11月オープン予定

(メカトロニクス)



ソーラーバッテリー製造設備